

# あいち農産物生産流通レポート

2021年9月号

	ページ
◎ 地域トピックス	
・ 愛知県果樹振興会いちじく現地研究会においてWeb現地視察を実施 (尾張農林水産事務所)	1
・ 県内トップを切って新米出荷！あいち米初出荷式が開催されました！ (海部農林水産事務所)	2
◎ 東日本情報	
・ 令和2年度京浜市場での愛知県産秋冬野菜の販売結果及び提言 (東京事務所)	3
◎ 西日本情報	
・ 愛知のふるさと食品コンテストの取組について (食育消費流通課)	5
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	7
・ 名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し	8
◎ 花き	
・ 切花・鉢花の9月の見通し(県内市場)	20

※今月「情報サロン」、「フラワーページ」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農業水産局農政部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400



## 愛知県果樹振興会いちじく現地研究会において Web 現地視察を実施

尾張農林水産事務所

愛知県果樹振興会（以下「県果樹振」という。）いちじく現地研究会が、尾張果樹振興会（農政課内に事務局）管内で開催され、一宮市および稲沢市内の現地視察及び講演を書面で行いました。

現地視察においては、異なる栽培時期の視察園地写真を Web 上に掲載し、現場に赴かなくても園地の状況が見ることができるよう工夫しました。

### 1 コロナ禍での現地研究会

毎年、県果樹振が開催している現地研究会のうち、令和3年度いちじく現地研究会については、尾張果樹振興会管内での開催であったため、令和2年10月頃から農業改良普及課稲沢駐在室とともに視察園地の選定及び講演内容等について検討を重ねてきました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和3年度は各品目（なし、いちじく、かき）について書面開催とすることが年度当初に決定したことから、書面開催でも従来の現地研究会に近づける新しい方法はないかと再度検討を行いました。

### 2 生育ステージごとの視察園地写真をクラウドで公開

検討の結果、現地研究会に参加予定だった多くの方に園地の様子を見てもらえるよう写真データを県果樹振アカウントの Google フォトで公開することにしました。

これを受け、視察園地を引き受けてもらった一宮市内の「ファーム大しま」および稲沢市内の「農事組合法人 rau」のほ場において、農業改良普及課稲沢駐在室の協力を得ながら萌芽期の4月中旬、生育期の5月中旬および着果開始期の6月中旬に撮影を行いました。この際、360度カメラも活用したことで、より臨場感のある写真も撮影できました。

これらのデータを県果樹振に提供し、Google フォトで公開してもらうとともに、書面開催資料に各視察園地の写真の URL と QR コードを掲載することで（図1及び図2）、パソコンやスマホ等で閲覧できる初めての Web 現地視察を開催することができました。

尾張地域の果樹産地は、園地の規模が小さく市街地近くに点在しているため、大規模な園地視察等の受け入れが難しい状況でした。今回の Web での園地視察の手法を活用しながら、今後も生産者の支援や会員相互の情報共有を尾張果樹振興会とともに模索していきます。



URL: <https://photos.app.goo.gl/fLzLfyWafDpj8M4n8>

図1 ファーム大しま園地写真



URL: <https://photos.app.goo.gl/9qvXrQ1wuqRauAwE9>

図2 農事組合法人 rau 園地写真

## 県内トップを切って新米出荷！ あいち米初出荷式が開催されました！

海部農林水産事務所

愛知県では、8月上旬から10月にかけて「あいちの新米」の収穫が続きます。早場米の産地である弥富市鍋田では、令和3年8月12日（木）に県内のトップを切って今年の新米が出荷されました。

この日、JAあいち海部鍋田支店集出荷場で、JAあいち海部、JAあいち経済連の主催により、あいち米の初出荷式が開催されました。初出荷式には、管内の出荷関係者のほか、朝日県議（弥富市）、中根農業水産局長などの県関係者も臨席しました。

一日検査員を委嘱されたJAあいち海部広報大使の「れんたろう」による出荷米の検査、出席者によるテープカットなどのセレモニーが行われた後、「あきたこまち」5,563袋（1袋30kg）を積んだトラックが集出荷場から出発しました。出荷された米はすべて1等米で、翌日13日からAコープを始めとした県内スーパーで販売しています。

JAあいち海部鍋田支店管内では、約289haの作付面積のうち早場米の「あきたこまち」と「コシヒカリ」が9割近くを占め、「あきたこまち」を皮切りに新米の収穫が始まります。本年産の「あきたこまち」は、梅雨入り後の日照時間が平年に比べ少なく心配されましたが、梅雨明け後は好天が続き、登熟が進んだことにより、品質は良好で、収量も平年並みを見込んでいます。

例年は消費者交流会として、夏休み中の子どもやその家族への新米試食会が開催されますが、今年は昨年と同様に、新型コロナウイルス感染症対策のため中止されました。



一等米と各付けする「れんたろう」



出発式のテープカット

## 令和2年度京浜市場での愛知県秋冬野菜の販売結果及び提言

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

首都圏の青果卸売会社30社及びJAあいち経済連、愛知県で構成される「京浜市場愛知県野菜連絡会」により、令和2年度の愛知県産主要野菜の販売概要がまとめられました。

前年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、会員が一堂に会する出荷反省会は開催されず、資料配付のみとなりました。

### 1 令和2年度の販売概要

京浜・関東市場における販売結果は、JAあいち経済連の取扱実績で、例年同様にキャベツが最も数量が多く、次いでトマト、ミニトマト、ブロッコリーと続き、金額は、おおばが最も多く、ミニトマト、キャベツ、トマトが続きました。

### 2 品目別販売概要

主要品目であるキャベツ、トマトについて、それぞれの販売概要は以下のとおりです。

#### (1) キャベツ

##### ア 令和2年作の販売経過

年内は、東北産地及び群馬県ともに平年並の切り上がりでしたが、愛知県同様に、関東産地の千葉県及び神奈川県も生育順調で出荷量が多く販売は低迷しました。

年明けも愛知県、千葉県、神奈川県各産地とも出荷量が多く、業務加工や飲食等の需要が低調で価格は低迷しました。

3月以降も神奈川県から前進出荷され、厳しい販売状況が続きました(図1)。

##### イ 競合産地の動向

近年の価格低迷もあり、加工業務の契約を望む産地が多くなっています。

また、全国的にキャベツの生産が増加しています。輸入対策以上に国内産地との競合となっています。特に関東産地はだいこん、はくさい、洋菜からキャベツへの移行が年々進んでいます。

##### ウ 販売・消費動向

新型コロナウイルス感染症の影響で、飲食業中心に加工業務がかなり大きなダメージを受けました。今後も影響は大きいと見込まれ、量販店中心の販売が想定されます。

今期はシーズンを通して安く、1玉売りでの販売が主流でした。毎週特売があり、数量は動きましたが価格は低迷しました。

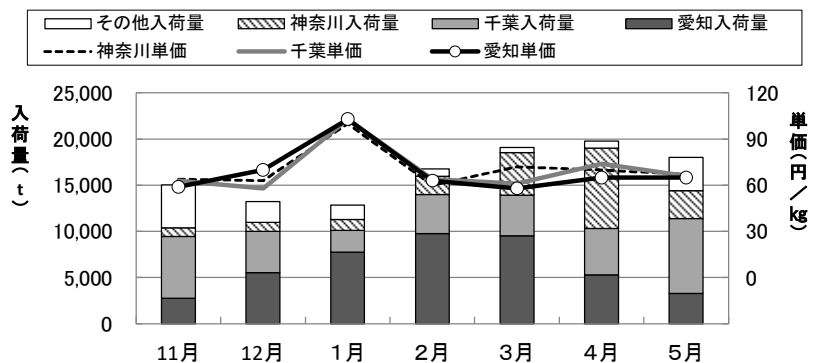


図1 キャベツの産地別入荷量と単価の推移

なお、量販店以外にも、コンビニや小型店舗のほか、ドラッグストア、ホームセンター等、多種多様な販売先がみられます。

## エ 卸売会社から愛知県への提言

- ・契約単価の見直し

シーズン値決めや加工業務 15kg 単価の見直しのほか、年間特注と日々や週間特注の価格差をつける等が考えられます。

京浜市場は年々千葉県及び神奈川県が増加している中で、愛知県の顧客確保が重要になっています。

## (2) トマト

### ア 令和2年作の販売経過

年内は、11月下旬の連休以降、各産地の順調な出荷が重なったことに加えて高値反動で販売は苦戦しました。年末年始は少し値を下げたことで流通在庫の消化は比較的早かったものの、1月から再び緊急

事態宣言により業務の低迷が続き、厳寒期は厳しい販売となりました。さらに暖冬傾向もあって、西南暖地を中心に昨年を2割ほど上回る出荷があり、販売は一層低迷しました。

暖候期は例年並の出荷でしたが、昨年のような巣ごもり需要はなく、業務の不振から販売は厳しい展開が続きました(図2)。

### イ 競合産地の動向

熊本県は外国人労働者の減少から面積は微減したものの豊作の年となり、出荷量は変わりませんでした。また、栃木県、千葉県については昨年の台風被害の部分は現状回帰し、例年並の水準となりました。

### ウ 販売・消費動向

コロナ禍において業務は回復せず、量販店中心の販売となりました。

昨年の巣ごもり需要で金額ベースがあがったため、今期は単価安のために売り出しを含めて数量を売っていく方針であったものの、回転率が鈍く、量販店の結果も達成できていない年でした。

販売形態としては、パック、スタンド小箱の引き合いが強くなりました。

## エ 卸売会社から愛知県への提言

- ・厳寒期の着色のばらつきは是正
- ・シーズン後半の黄化玉は是正

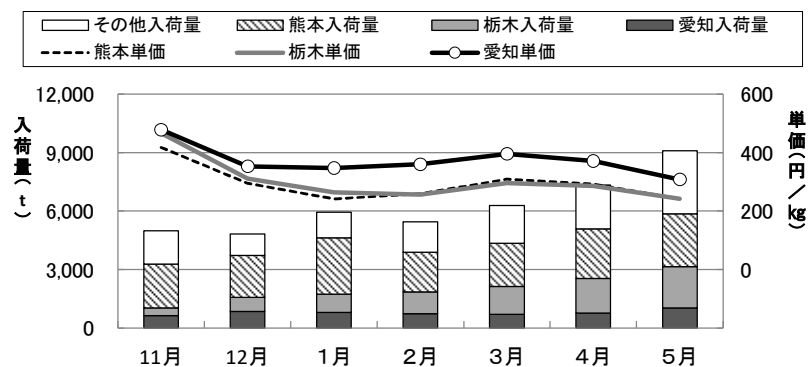


図2 トマトの産地別入荷量と単価の推移

## 愛知のふるさと食品コンテストの取組について

食育消費流通課

県産農林水産物を活用した加工食品を新たに掘り起こし、農林水産物の利用拡大と生産振興に資することを目的として、1998年から「愛知のふるさと食品コンテスト」を毎年開催しています。

今年度は応募のあった46商品について、書類による一次審査（技術又は製品の新規性、県産原料の利用度、独創性、郷土色の豊かさ、包装デザイン、ネーミング、価格）を実施し、得点が上位の15商品について8月4日（水）に審査会で食味審査を行いました。

審査の結果、「鰻能」を最優秀賞（知事賞）、「愛知のキムチ」と「ハードバウム玄米」を優秀賞（愛知食品産業振興協会会長賞、農業水産局長賞）に決定しました。

なお、最優秀賞の商品を一般財団法人食品産業センターが主催する「優良ふるさと食品中央コンクール」の愛知県代表として県から推薦します。本県からの推薦賞品は、本コンクールの最高賞である農林水産大臣賞を1999年以降で8回受賞しています。

## 1 最優秀賞（知事賞）の概要


商品名	ばんのう 鰻能	
販売者	株式会社あつみ（豊橋市） <a href="https://www.atsumi-unagi.jp/">https://www.atsumi-unagi.jp/</a>	
希望小売 価格（税別）	800円/本	
販売店舗	道の駅とよはし、ラグーナテンボス内PHラボ、 えいこうショップ <a href="http://www.eico-shop.jp/">http://www.eico-shop.jp/</a>	
主な原材料	うなぎ、食塩、アルコール	
商品の概要 ・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通常では利用されていない鰻の頭部を発酵させた魚醤（鰻ナンプラー）で、全国的にも例のない未利用資源を活用した商品です。</li> <li>・(株)海みらい研究所（発案）、イチビキ(株)（発酵製造）、(株)あつみ（鰻の頭部提供）の3社で共同開発しました。</li> <li>・商品名とキャラクター（とうしょー君）は、東三河地域の公立高校より募集し、1,470通の応募の中から選びました。</li> <li>・様々の料理の味付けに「ばんのう」に使えると期待されています。</li> </ul>	
審査講評	旨味抜群で、少し足すだけで深い味わいになります。 生産者、企業、学生など地域が連携して商品化に至っています。 ネーミングもパッケージも力強いイメージが伝わります。	

## 2 優秀賞（愛知食品産業振興協会会長賞、農業水産局長賞）の概要

### （1）愛知食品産業振興協会会長賞

商品名	愛知のキムチ	
製造者	大日食品株式会社（東海市） <a href="http://www.dainichi-foods.co.jp/">http://www.dainichi-foods.co.jp/</a>	
希望小売価格(税別)	200 円前後/パック	
販売店舗	愛知県を中心としたスーパー	
主な原材料	白菜、チキンエキス、しこの露、玉葱他	
商品の概要 ・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県産の未利用資源3種(名古屋コーチンエキス、豊浜しこの露魚醤、知多半島産玉葱)をブレンドした、あまうまなキムチです。</li> <li>・未利用資源を使用することで廃棄物の削減という観点から地域に還元できる商品となっています。</li> <li>・リンゴピューレの甘味と魚介の旨味をベースにした愛知のキムチは、ごはんのお供に最適です。</li> </ul>	
審査講評	<p>少し甘味があり、深い味わいです。 パッケージをみただけで、愛知の資源、美味しさが伝わります。</p>	

### （2）農業水産局長賞

商品名	ハードバウム玄米	
製造者	株式会社ココトモファーム（犬山市） <a href="https://www.cocotomo-farm.jp/">https://www.cocotomo-farm.jp/</a>	
希望小売価格(税別)	1,760 円/個	
販売店舗	ココトモファーム各店舗 ネット通販 <a href="https://www.cocotomobaum.jp/">https://www.cocotomobaum.jp/</a>	
主な原材料	全卵、玄米粉、発酵バター他	
商品の概要 ・特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ハードバウム玄米」の原料は、犬山市今井の広大な田んぼで自家栽培したお米を精米・製粉したフレッシュな生米粉を使っています。</li> <li>・カリッと感×もちり感の異なる歯ごたえが楽しめ、新世代のバウムクーヘンと話題になっています。</li> </ul>	
審査講評	<p>新食感で、香りも良いと思います。 原料から製造工程までよく考えられた商品で、地域経済や地域活性化の貢献への姿勢が素晴らしいです。</p>	

愛知のふるさと食品コンテストの出品商品については、県のWebページ「いいともあいち情報広場」で紹介しています（2021年度の出品商品は10月頃から紹介します）。

<https://www.pref.aichi.jp/nousei/iitomo/iitomoaichi/index.html>



## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下  
 わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### ○ 名古屋中央卸売市場（品目：いちじく）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
2年実績	377	377 (100%)	1,044	1,044	— — —
3年見通し	370	—	1,000	—	
<b>概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>ほぼ全量を愛知から入荷する。平年より早い梅雨入りと8月のゲリラ豪雨の影響で入荷量は減少しており、傷みも多くみられる。また、日照不足のため着色もかなり悪いものがある。生育は前進傾向だったが、雨の影響で現在は平年並となっている。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>			<p>毎年のように8月上～9月中旬頃の天候不順が出荷量に大きな影響を与えており、産地は苦勞されていると思う。本年も8月の天候不順で収量と品質が落ち選果、選別に苦勞していると思うが、出荷量は減少しても傷みが少ないものを出荷するようお願いしたい。</p>		

### ○ 東京都中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
2年実績	252	119 (47%)	1,565	1,691	茨城 (9%) 静岡 (8%) 埼玉 (6%)
3年見通し	250	—	1,570	—	
<b>概要と見通し</b>			<b>卸売市場から産地への要望・提言等</b>		
<p>愛知の入荷は、8月下旬から始まり、9月から本格化、10月にピークを迎える。本年は、主要2品種の「久寿」は着果が多く小玉傾向、「藤九郎」の着果は前年並で、入荷時期は平年並となる。新型コロナウイルス感染症の影響で量販店中心の販売となり、価格の伸びは期待できないが大きく下がることもない見込み。入荷量は前年並となり、価格も前年並となる見込み。</p>			<p>ぎんなんは秋の味覚として業務筋を中心に人気が高く、10月～11月に量販店でも需要が高まる。愛知は品質・選別ともに良好であるものの、9月は高温、多湿の日が多く、カビの発生が懸念される。量販店では特にクリーム対象となるため注意してもらいたい。また、近年は需要のピークが年内となっており、年明け2週目以降は非常に販売しづらいため年内中に出荷を終えるよう勧めたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の9月の見通し

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	28年	34,546	246	255	253	227	北海道 44%
	29年	35,398	223	243	229	200	長野 26%
	30年	32,706	257	265	262	242	群馬 8%
	元年	34,117	231	235	239	216	青森 4%
	2年	36,067	217	222	211	217	茨城 4%
	5ヵ年平均	34,567	235	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	32,700	230	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、長野を中心に入荷する。7月の高温・干ばつと8月の長雨の影響により、野菜全体において入荷量が少なく、価格は高めの見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
だいこん	28年	1,704	133	131	136	143	青森 51%
	29年	2,009	99	97	121	89	北海道 39%
	30年	1,997	113	118	118	111	岐阜 8%
	元年	2,045	83	84	80	91	長野 2%
	2年	1,653	111	120	102	115	
	5ヵ年平均	1,882	107	109	111	108	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,800	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森、北海道を中心に入荷する。7月の高温・干ばつの影響を受け、入荷量が不安定となる見込み。サンマは数年間不漁が続いているため、だいこんの消費増は期待できない。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	28年	1,263	336	282	388	342	北海道 98%
	29年	2,412	89	84	91	92	中国 1%
	30年	1,773	194	157	202	218	愛知 1%
	元年	2,134	118	127	129	103	
	2年	2,432	114	112	120	110	
	5ヵ年平均	2,003	151	138	163	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,000	130	120	130	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に入荷する。北海道は7月の干ばつの影響で小物が多い傾向で、特に9月中旬以降に入荷量が少なくなり、価格が上がる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。  
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	28年	131,610	270	261	270	279	北海道 32%	
	29年	137,023	240	261	249	212	長野 17%	
	30年	121,299	282	289	290	267	群馬 15%	
	元年	124,781	257	269	255	246	茨城 7%	
	2年	120,742	249	252	242	254	青森 6%	
	5ヵ年平均	127,091	259	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	125,000	250	—	—	—		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	北日本、関東周辺高冷地からの入荷となる。8月中旬以降、台風や大雨被害により果菜類を中心に相場上昇したが、その後の天候回復に伴って出方は安定し、相場は落ち着く見込み。懸念材料は台風。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。							
	だいこん	28年	11,218	134	131	133	136	北海道 60%
29年		11,768	97	100	109	83	青森 34%	
30年		10,201	115	126	114	108	岩手 3%	
元年		10,109	87	92	78	91	群馬 2%	
2年		8,558	107	115	97	111		
5ヵ年平均		10,371	108	113	107	106	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		9,000	95	100	95	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
北海道、青森からの入荷が中心となる。高温により生育不良、品質不良が発生。特に主力の北海道で高温と少雨の影響大きい。気温低下と降雨で回復傾向も、入荷の伸びは期待薄で平年量は厳しいか。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。								
にんじん		28年	6,359	271	223	304	291	北海道 96%
	29年	8,657	82	78	79	88	千葉 2%	
	30年	6,148	183	151	190	207	中国 2%	
	元年	7,122	120	115	124	120		
	2年	7,075	116	114	112	123		
	5ヵ年平均	7,072	148	131	154	159	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	7,000	145	150	145	140		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	北海道からの入荷がほとんどを占める。高温に加え干ばつで肥大が鈍く全体的に小ぶり傾向だったものの、降雨により肥大進む。太物比率を高めながら安定した入荷が続くと見込まれる。 入荷量は前年並となり、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

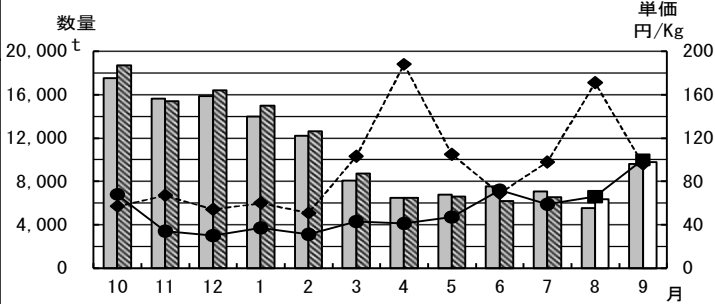
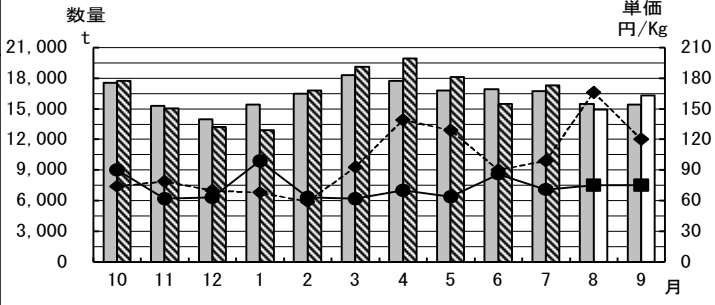
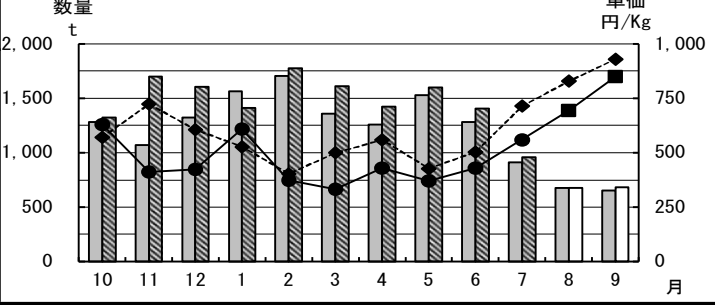
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
はんぱい	28年	2,198	91	83	103	94	長野 98% 北海道 2%	
	29年	2,470	107	120	123	90		
	30年	2,468	113	99	108	127		
	元年	2,826	104	132	90	96		
	2年	3,028	90	107	82	85		
	5ヵ年平均	2,598	101	109	100	98	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,900	85	90	85	80		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t				単価 円/Kg
	長野からほぼ全量を入荷する。長野は生育順調でほぼ平年並の入荷を見込む。量販店・スーパー等では売り場拡大が予想されるが、漬物・加工需要については引き続き厳しい状況となる見込み。 入荷量と価格ともに、前年をやや下回る見込み。							
	キヤベツ	28年	4,472	99	91	109	102	群馬 54% 長野 30% 北海道 15% 中国 1%
29年		4,574	97	95	106	92		
30年		4,851	85	84	87	85		
元年		4,216	95	102	100	87		
2年		4,365	110	127	106	100		
5ヵ年平均		4,496	97	99	101	93	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
3年見通し		4,300	85	80	85	90		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t				単価 円/Kg	
群馬を中心に長野、北海道などから入荷する。群馬と長野は生育良好で、順調な入荷を見込む。北海道は干ばつの影響で入荷量減の予想。 入荷量は前年並、価格は前年を大幅に下回る見込み。								
ほうれんそう		28年	149	902	980	923	834	岐阜 90% 長野 3% 愛知 2% 静岡 1% 茨城 1%
	29年	187	797	860	817	751		
	30年	145	892	867	966	872		
	元年	166	839	932	833	793		
	2年	151	946	892	999	973		
	5ヵ年平均	160	871	905	902	839	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	150	900	950	900	850		
	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			数量 t				単価 円/Kg
	岐阜を中心に、一部長野や愛知などから入荷する。岐阜は長雨の影響で生育が軟弱で、収穫・調整作業に非常に手間がかかっている。9月中旬までの入荷量が特に少ない予想。 入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

8月31日現在

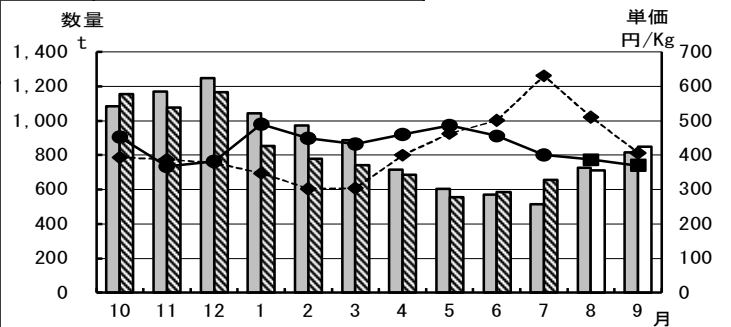
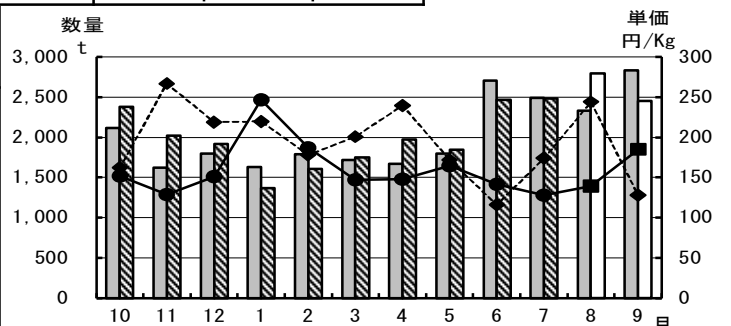
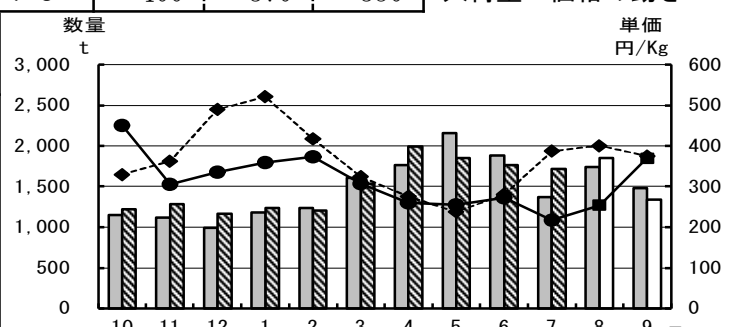
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	28年	10,490	91	76	103	91	長野 93%
	29年	10,701	103	117	118	83	北海道 4%
	30年	10,869	111	103	106	122	群馬 3%
	元年	10,177	101	92	90	126	
	2年	9,590	96	109	85	96	
	5ヵ年平均 3年見通し	10,365 9,800	101 100	99 120	101 100	104 80	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からの入荷がほとんどを占める。順調に生育しており、長雨による病害発生もあるも大きな問題はない。品質や結球具合も良好で、下旬に向けて量を増やし、収穫ピークに入っていく。 入荷量は少なかった前年をわずかに上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					 <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は10月10日から9月9日まで、単価は10月10日から9月9日まで。</p>
キヤベツ	28年	16,932	96	84	106	100	群馬 76%
	29年	17,258	93	91	104	84	岩手 13%
	30年	16,827	78	75	80	79	長野 6%
	元年	16,788	93	102	95	82	北海道 2%
	2年	15,430	120	145	111	103	茨城 1%
	5ヵ年平均 3年見通し	16,647 16,300	96 75	99 75	99 75	89 75	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心に、岩手、長野などからの入荷となる。主力の群馬は生育良好で、順調な入荷が続く。岩手は高温少雨と大雨の影響で生育遅れがみられ、回復は下旬以降か。荷に不足なく安値基調が続く見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>					 <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は10月10日から9月9日まで、単価は10月10日から9月9日まで。</p>
ほうれんそう	28年	749	917	1,109	833	832	群馬 40%
	29年	1,028	681	872	658	584	栃木 25%
	30年	790	798	770	987	666	茨城 14%
	元年	832	797	879	814	725	岐阜 7%
	2年	651	929	858	1,073	883	岩手 6%
	5ヵ年平均 3年見通し	810 680	811 850	895 950	853 870	723 730	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬など関東高冷地と岐阜、岩手からの入荷が中心となる。高温で生育が遅れ気味の地域があり、8月中旬以降の大雨も作柄に悪影響を与える。気温低下等からその後は生育順調で、出方は安定する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					 <p>数量 (t) と 単価 (円/kg) の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は10月10日から9月9日まで、単価は10月10日から9月9日まで。</p>

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地 (%)				
				上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	856	404	382	402	443	北海道	55%
	29年	989	393	399	391	392	長野	23%
	30年	773	500	472	533	494	富山	4%
	元年	962	376	373	362	399	中国	4%
	2年	816	407	367	414	443	茨城	3%
	5ヵ年平均	879	413	397	416	431	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	850	370	360	370	380		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長野、富山などから入荷する。北海道は一時的に入荷量が減少するも、徐々に増量する見込み。長野、富山はともに順調な入荷となる予想。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
<p>北海道、長野、富山などから入荷する。北海道は一時的に入荷量が減少するも、徐々に増量する見込み。長野、富山はともに順調な入荷となる予想。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>								
しそ	28年	2,085	232	248	223	236	長野	98%
	29年	2,297	171	222	171	127	茨城	1%
	30年	2,371	192	179	198	202		
	元年	2,474	199	199	216	185		
	2年	2,837	128	133	117	135		
	5ヵ年平均	2,413	181	192	182	174	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,450	185	180	200	170		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野からほぼ全量を入荷する。長野は9月上旬の入荷は少なめ、中旬以降は準高冷地からの入荷がピークになる予想。下旬は、順調であれば茨城からの入荷が少しずつある見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						
<p>長野からほぼ全量を入荷する。長野は9月上旬の入荷は少なめ、中旬以降は準高冷地からの入荷がピークになる予想。下旬は、順調であれば茨城からの入荷が少しずつある見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>								
きゅうり	28年	1,381	351	335	329	404	長野	33%
	29年	1,419	310	373	307	258	北海道	23%
	30年	1,300	431	428	456	407	山梨	14%
	元年	1,472	339	409	312	290	群馬	14%
	2年	1,478	375	340	377	415	茨城	3%
	5ヵ年平均	1,410	360	376	355	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	1,340	370	400	370	350		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に北海道などから入荷する。9月上旬は8月の長雨の影響で入荷量は少ないが、中下旬は群馬、山梨の抑制栽培ものがピークとなる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
<p>長野を中心に北海道などから入荷する。9月上旬は8月の長雨の影響で入荷量は少ないが、中下旬は群馬、山梨の抑制栽培ものがピークとなる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並となる見込み。</p>								

東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	28年	4,788	423	379	410	482	青森 21%
	29年	5,242	378	380	375	377	秋田 21%
	30年	4,479	484	454	535	465	北海道 18%
	元年	4,662	385	353	389	412	山形 7%
	2年	4,153	411	348	401	485	茨城 7%
	5ヵ年平均	4,665	415	383	420	442	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	4,500	400	420	400	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>青森、北海道等の東北以北産地及び茨城からの入荷が中心となる。一部産地でみられた高温、干ばつによる細物傾向は、その後の降雨により回復。各産地とも生育は概ね順調で、出回りに不足感はない見込み。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
し	28年	9,674	229	253	217	216	長野 85%
	29年	9,391	175	245	173	124	群馬 9%
	30年	8,345	197	186	206	199	茨城 3%
	元年	8,928	199	206	213	177	岩手 1%
	2年	9,824	122	128	109	129	
	5ヵ年平均	9,232	184	204	182	168	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	9,100	175	210	170	145	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に、群馬などからの入荷となる。長野は、高温少雨による小玉傾向が8月中旬の降雨で解消し一転大玉傾向も、地域によって病害発生でロス大きい。群馬も生育順調も病害で入荷減の懸念あり。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
きゅうり	28年	7,626	314	287	297	369	福島 29%
	29年	7,790	283	360	280	228	群馬 16%
	30年	6,719	395	406	410	361	岩手 13%
	元年	7,946	309	398	269	260	埼玉 10%
	2年	7,161	346	295	367	390	茨城 8%
	5ヵ年平均	7,448	327	349	321	319	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	7,000	360	450	330	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>東北産地から関東産地への移行時期となる。東北産地は概ねピーク過ぎ、草勢低下から回復も大きな増量なく、産地によっては切り上がり及早まるか。関東産地は生育順調で、下旬に向けて増量を見込む。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

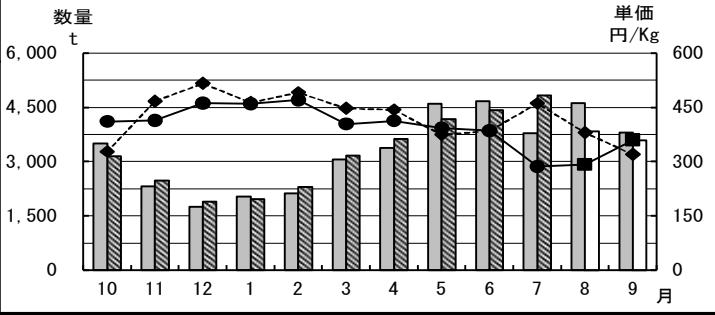
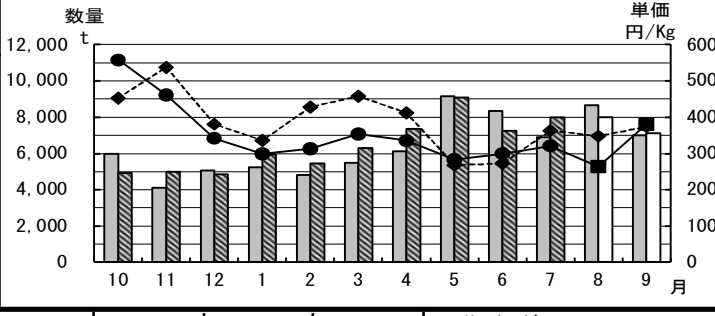
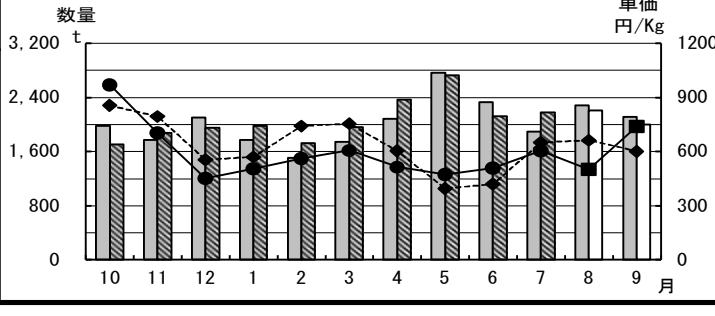
品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	28年	734	321	292	321	371	愛知 26%
	29年	756	335	340	374	292	山梨 25%
	30年	549	408	355	486	414	徳島 19%
	元年	789	360	354	365	368	群馬 10%
	2年	670	356	288	359	446	茨城 8%
	5ヵ年平均	700	353	325	376	374	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	650	360	350	360	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、山梨、徳島などから入荷する。7月の干ばつの影響で、9月上旬の入荷量は少なく、秀品率は低い予想。中旬以降は天候次第で状況が変わってくる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
ト マ ト	28年	1,578	350	317	349	406	岐阜 58%
	29年	1,290	474	551	480	403	北海道 22%
	30年	1,195	530	590	499	494	愛知 10%
	元年	1,267	482	464	467	540	千葉 3%
	2年	1,392	405	398	372	467	長野 2%
	5ヵ年平均	1,344	442	455	428	459	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	1,250	450	420	450	480	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岐阜を中心に北海道、愛知などから入荷する。長雨の影響を受け、岐阜を中心に入荷量が少ない見込み、中下旬は夏秋栽培と抑制栽培の端境期となり、さらに数量減する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	28年	463	700	616	659	868	北海道 79%
	29年	513	916	1,004	919	836	長野 8%
	30年	571	919	1,022	875	855	茨城 5%
	元年	531	878	692	1,026	954	愛知 4%
	2年	624	620	578	588	721	青森 2%
	5ヵ年平均	540	804	782	810	842	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	500	867	800	900	900	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道を中心に長野、茨城などから入荷する。前進傾向の生育が続いていたこともあり、なり疲れの影響から数量少なく、月を通して高単価で推移する見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>					



東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
なし	28年	3,860	367	328	330	498	栃木 30%
	29年	4,084	331	364	377	262	群馬 30%
	30年	3,281	424	394	507	372	茨城 23%
	元年	3,662	372	340	371	416	埼玉 4%
	2年	3,795	320	259	329	412	高知 4%
	5ヵ年平均	3,736	361	336	379	391	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	3,600	360	370	360	350	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>栃木、群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも生育は概ね順調。8月中旬の大雨や台風に伴う強風による果実のスレや枝折れが発生したものの回復し、増量していく見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年をかなり上回る見込み。</p>						
もも	28年	8,556	329	294	321	387	北海道 21%
	29年	7,238	429	518	426	359	福島 15%
	30年	6,475	500	516	499	481	青森 13%
	元年	6,321	463	473	412	532	千葉 13%
	2年	7,018	374	354	339	461	茨城 9%
	5ヵ年平均	7,122	413	424	394	439	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	7,100	380	400	360	380	
ま	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道のほか、東北、関東産地などからの入荷となる。東北以北産地は前進出荷傾向。高温による花落ちの段を抜けて9月は増量となるか。関東産地は概ね生育順調も、長雨で花落ちがみられる産地もある。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>						
なし	28年	2,016	629	545	606	773	北海道 32%
	29年	2,107	835	963	873	700	茨城 22%
	30年	2,037	873	996	830	782	青森 13%
	元年	1,874	829	715	886	890	千葉 8%
	2年	2,113	602	569	570	684	山形 7%
	5ヵ年平均	2,029	752	759	751	763	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,000	740	750	720	750	
ま	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>北海道を中心に、東北、関東産地などからの入荷となる。高温による着果不良、その後の気温低下で入荷を減らし、回復するも大きな増量はないか。茨城は好天により生育は概ね順調。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安値だった前年を大幅に上回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	28年	428	380	375	426	434	北海道 39%
	29年	436	402	460	463	393	岩手 22%
	30年	410	488	567	526	523	青森 17%
	元年	439	479	494	544	458	茨城 13%
	2年	493	481	497	497	505	長野 4%
	5ヵ年平均	441	447	478	491	463	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	440	433	400	450	450	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、岩手を中心に青森などからも入荷する。天候不順により各産地入荷量は少ないことに加え、中下旬は夏秋栽培と抑制栽培の端境期となることから、価格が上がる見込み。 入荷量と価格ともに前年をかなり下回る見込み。</p>							
ばれいしょ	28年	2,783	163	155	183	156	北海道 100%
	29年	2,600	104	114	110	95	
	30年	2,570	123	127	127	114	
	元年	2,775	98	101	100	90	
	2年	3,305	110	111	107	110	
	5ヵ年平均	2,807	119	121	125	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,500	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道を中心に入荷する。北海道は生育時期の5～7月に干ばつだったため小玉となり、令和3年産は過去最低な入荷量となる見込み。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>							
たまねぎ	28年	6,574	112	152	127	96	北海道 93%
	29年	5,508	71	74	71	71	愛媛 5%
	30年	5,044	99	101	105	95	兵庫 1%
	元年	4,870	80	82	81	77	
	2年	5,707	75	81	73	75	
	5ヵ年平均	5,541	88	100	93	83	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	5,100	85	85	85	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、兵庫を中心に入荷する。淡路産は9月でほぼ出荷終了する見込み。北海道は干ばつの影響で小玉が多く、L玉やM玉の比率が高まる予想。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は大幅に上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

8月31日現在

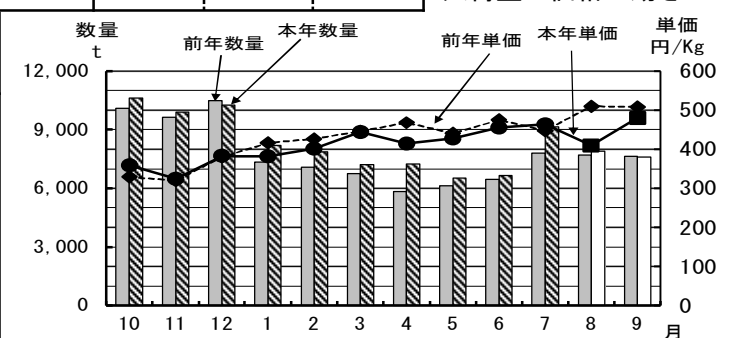
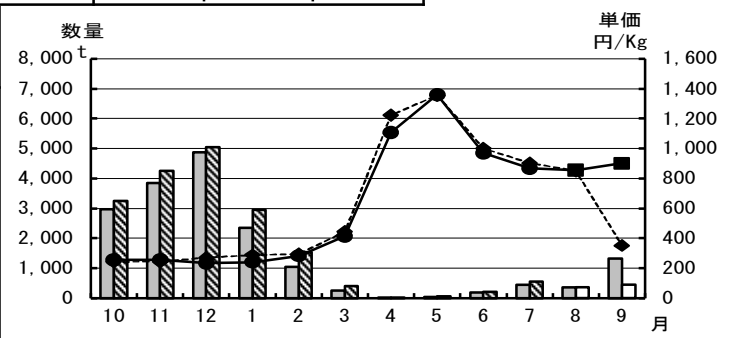
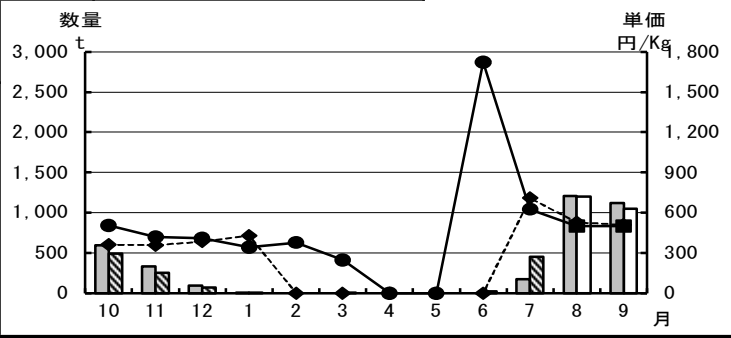
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	28年	2,294	309	276	317	340	岩手 43%
	29年	2,266	345	358	363	317	茨城 36%
	30年	2,156	434	455	419	427	福島 12%
	元年	2,263	424	420	460	390	青森 7%
	2年	2,476	428	416	423	450	千葉 1%
	5ヵ年平均	2,291	388	385	396	385	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	2,300	400	440	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>岩手、茨城、福島、青森などからの入荷となる。主力の岩手は8月中旬の降雨等で一時生育が鈍ったものの、その後の好天により回復傾向。茨城は、高温により生育遅れがみられるも、出方は平年並か。入荷量、価格ともに前年をかなり下回る見込み。</p>					
白菜	28年	7,410	171	169	180	163	北海道 99%
	29年	7,949	108	119	105	100	青森 1%
	30年	6,330	128	131	131	120	
	元年	7,129	107	113	110	99	
	2年	7,545	118	117	118	121	
	5ヵ年平均	7,273	126	130	128	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	6,900	150	160	150	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。生育良好も雨が少なく小玉傾向。地域によっては生育が進んでおり、切り上がりが早まるか。量は少なめも9月中は順調な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	28年	11,133	126	143	126	105	北海道 96%
	29年	10,651	77	80	77	74	中国 2%
	30年	9,440	108	111	110	102	兵庫 1%
	元年	9,118	84	85	86	82	
	2年	9,635	83	87	82	79	
	5ヵ年平均	9,995	96	102	97	89	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	3年見通し	8,900	90	95	90	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。生育は概ね順調ながらも干ばつのため肥大が進まず小玉傾向。降雨による肥大を期待するも収穫時期を迎える様相で、入荷量は平年を下回ると見込まれる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

8月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	28年	9,377	381	370	387	386	長野 26%
	29年	10,006	399	402	414	389	フィリピン 12%
	30年	8,523	431	468	426	414	青森 10%
	元年	8,462	441	439	414	429	三重 10%
	2年	7,649	508	548	513	477	熊本 8%
	5ヵ年平均	8,803	428	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	7,600	480	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	ぶどう、なし、りんご、みかんを中心に 入荷する。ぶどうの生育は昨年より3日ほど 前進しており、長野の露地巨峰は9月中旬 から、露地のシャインマスカットは下旬 から入荷開始の見込み。 入荷量は前年並、価格は高値だった前年 をやや下回る見込み。						
みかん	28年	1,348	316	483	321	282	三重 55%
	29年	1,141	347	539	394	305	熊本 22%
	30年	1,526	312	416	331	268	宮崎 12%
	元年	1,211	326	430	330	292	佐賀 5%
	2年	1,331	352	459	375	300	愛知 3%
	5ヵ年平均	1,311	330	462	349	288	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	1,300	350	450	380	300		
かん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	三重を中心に、熊本、宮崎などから入荷 する。ハウスみかん、グリーンハウスみかん、 極早生みかんを入荷する。裏年に当たるが、 極早生みかんの数量は前年並となる見込み。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は 前年並の見込み。						
な	28年	1,911	291	275	288	327	長野 62%
	29年	2,224	300	313	296	291	新潟 11%
	30年	1,516	330	330	329	338	愛知 10%
	元年	1,712	364	367	373	359	秋田 6%
	2年	1,120	509	523	508	525	富山 5%
	5ヵ年平均	1,697	344	346	344	352	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
3年見通し	1,050	500	500	500	500		
し	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	長野を中心に新潟、愛知などから入荷す る。生育は前進傾向で、4月の低温の影響 を受け、中晩生品種の入荷量は少ない見込 み。切り上がりや早いため、9月下旬は特 に入荷量が減少する見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前 年並の見込み。						

東京都中央卸売市場

8月31日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
果	28年	36,650	367	368	367	青森	14%	
	29年	37,384	384	394	366	長野	10%	
	30年	33,740	430	444	414	山梨	8%	
	元年	32,344	460	492	430	福島	6%	
	2年	27,127	573	623	525	フィリピン	6%	
	5ヵ年平均	33,449	435	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	3年見通し	28,000	510	—	—			
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	なし、りんご、みかん、ぶどうなどが入荷する。りんごでは青森が8月の雨と低温の影響受け入荷量若干減の見込み。ぶどうは8月中旬の雨の影響で一部ロス率が増える産地もあるが概ね生育順調。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
みかん	28年	3,390	292	498	286	253	宮崎	39%
	29年	2,824	318	688	347	261	熊本	23%
	30年	3,311	311	416	311	268	佐賀	16%
	元年	2,969	302	498	292	268	愛媛	8%
	2年	2,853	324	427	329	291	静岡	4%
	5ヵ年平均	3,069	309	502	312	268	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	2,900	320	390	320	250		
みかん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	ハウスみかんは前進出荷により、切り上がり早く入荷量は平年より少ない見込み。露地の極早生みかんは平年並の生育となり9月上旬から宮崎、中旬から熊本などから入荷始まる見込み。入荷量、価格ともに前年並となる見込み。							
なし	28年	10,388	262	254	264	270	栃木	49%
	29年	11,462	260	281	261	239	福島	32%
	30年	9,938	280	298	273	264	茨城	27%
	元年	9,547	330	343	331	300	千葉	18%
	2年	6,146	504	524	484	493	長野	8%
	5ヵ年平均	9,496	310	323	307	296	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	3年見通し	7,000	440	480	430	410		
なし	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	昨年は天候の影響で入荷量少なく、価格が非常に高い年であった。今年は鳥取など大雨の影響で入荷量少ない産地がある一方、栃木、茨城など平年並となる産地もあり、全体では前年を上回る見込み。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。			注：前年と本年の4、5月は入荷なしにつき単価を0円/kgで表記				

# 切花・鉢花の9月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 8月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
	実績等					
輪 ぎ	実績	28年	2,302	52		
		29年	2,214	51		
		30年	1,702	62		
		元年	1,888	61		
2年		1,698	60			
5カ年平均	1,961	57				
3年見通し	1,700	60				
概要	愛知、長野などから入荷する。盆期間中の長雨、日照不足等で生育に影響がでており、秀品率が低下する見込み。中旬からは彼岸需要もあり、動きがよくなる。					
小 ぎ	実績	28年	1,847	33		
		29年	2,006	28		
		30年	1,599	38		
		元年	1,595	40		
2年		1,333	41			
5カ年平均	1,676	35				
3年見通し	1,400	40				
概要	愛知、長野、岩手、埼玉、奈良から入荷する。盆期間の長雨、日照不足等の影響で秀品の発生が低下するか。彼岸期に対しては強い引き合いが見込まれる。					
カー ネ ー シ ョ ン	実績	28年	1,240	41		
		29年	1,164	44		
		30年	1,259	40		
		元年	1,198	47		
2年		1,129	42			
5カ年平均	1,198	43				
3年見通し	1,150	43				
概要	長野、北海道を中心に大きな山もなく、だらだらとした入荷となる見込み。輸入品に関しては不安定な入荷が続くか。					
か す み	実績	28年	144	84		
		29年	98	157		
		30年	96	134		
		元年	101	133		
2年		108	116			
5カ年平均	109	121				
3年見通し	110	120				
概要	長野、福島からの入荷となる。延期となっているブライダルは9月からの予約が多い状況にあり、相場展開も期待したいが、コロナ感染者増加で緊急事態宣言発令となり、見通し辛い状況。					

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	28年	375	152	
		29年	332	177	
		30年	289	184	
		元年	329	170	
		2年	305	162	
		5カ年平均		326	
	3年見通し		300	165	
概要	<p>オリエンタルは北海道、新潟、岐阜、埼玉から入荷する。8月中下旬の長雨や日照不足により、9月上旬の入荷量は少なめの予想。LAは埼玉、新潟から入荷し、前年並の入荷量を見込む。鉄砲は兵庫、愛媛からの入荷となる。兵庫は台風9号の被害があり、入荷量は減少する見込み。</p>				
洋ら	実績	28年	524	68	
		29年	483	71	
		30年	410	89	
		元年	514	68	
		2年	316	91	
		5カ年平均		449	
	3年見通し		350	90	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡などの国内産に加え、輸入物が入荷する。オンシジウムの上位等級が品薄で下位等級が増加する。デンファレはアンナが増加し、シンビジウムが例年より少ないか。</p>				
ばら	実績	28年	754	73	
		29年	757	68	
		30年	555	66	
		元年	710	73	
		2年	628	76	
		5カ年平均		681	
	3年見通し		630	76	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、山形などから入荷する。今年は夏の暑さの影響が少なく、三重等は夏休み後の品質も上々である。例年と比べペライダルは自粛など縮小傾向にあり、業務需要は期待できないが、ステイホームで敬老の日の引合いは期待される。</p>				
枝	実績	28年	1,515	48	
		29年	1,555	48	
		30年	1,346	51	
		元年	1,352	55	
		2年	1,212	55	
		5カ年平均		1,396	
	3年見通し		1,250	55	
概要	<p>愛知、三重、岐阜、静岡、和歌山、長野、山形などから入荷する。パンパスの引き合いが、例年より強い。特にドライに関しては対応が難しい。つる梅、フォックス、ノバラ、ヤブサンザシなどの入荷が始まり、山取り物の入荷は少ない。キビ、ソルゴ、グラス類は例年より需要が見込まれる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ	実績	28年	21,815	784	
		29年	20,063	830	
		30年	19,943	845	
		元年	23,289	776	
		2年	23,582	755	
	5カ年平均		21,738	796	
	3年見通し		22,000	773	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。原木類の輸入減少が大きな要因で、7～10号サイズ中心の入荷となる見込み。 前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（49.2%）、2位鹿児島（11.8%）、3位沖縄（10.6%）。</p>				
オンシジウム	実績	28年	4,307	613	
		29年	2,566	735	
		30年	2,969	556	
		元年	2,097	659	
		2年	2,153	652	
	5カ年平均		2,788	628	
	3年見通し		2,000	650	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。相場の低迷、生産者も減少している。気温が高いと開花速度が速く、鑑賞期間が短くなりがちなので固めの出荷をお願いしたい。 また、バーク生産が多く水切れの可能性があるので、水をしっかりと与えてからの出荷をお願いしたい。 前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（83.6%）、2位高知（11.8%）、3位山梨（2.9%）となっている。</p>				
アンズ	実績	28年	6,806	688	
		29年	5,640	905	
		30年	5,810	896	
		元年	7,888	754	
		2年	5,583	874	
	5カ年平均		6,345	814	
	3年見通し		5,000	880	
概要	<p>全体に前倒し傾向にあるため、入荷量は前年より若干減少か。作付け内容に大きな変更はなく、6号MIXが主体となる。7号以上は赤・ピンク・白系が主力の色目となる。 前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（95.6%）、2位岐阜（2.2%）、3位長崎（0.8%）となっている。</p>				



単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シヤコバサボテン	実績	28年	29,303	438	
		29年	26,225	422	
		30年	21,093	415	
		元年	23,690	414	
		2年	17,270	426	
		5カ年平均	23,516	423	
	3年見通し	18,000	411		
概要	<p>入荷量は前年より増加の見込み。前年は猛暑の影響で花飛びがあり関東中心に入荷量が減少したが、今年は順調な仕上がり。8月はほぼ埼玉の山上げ物のみだが、9月からは愛知のクーラー物の出荷が始まる。価格面では3.5号～5号の引き合いが強く、6号以上はやや苦戦か。まだまだ気温が高く花の進みが早いいため、蕾固めでの出荷をお願いしたい。前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(51.6%)、2位愛知(47.3%)、3位新潟(1.1%)となっている。</p>				
シクメン	実績	28年	169,833	143	
		29年	145,689	155	
		30年	116,605	158	
		元年	174,798	147	
		2年	113,397	142	
		5カ年平均	144,064	149	
	3年見通し	105,000	145		
概要	<p>入荷量は前年よりもやや減少するか。9月中旬以降からガーデンシクメン3号ポットの入荷が始まり、4号以上は10月初旬よりスタートとなる。天候にも左右されるが、残暑の残る9月は相場が厳しくなると予想されるが、9月末から10月以降にかけて徐々に相場も安定してくる見込み。前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位長野(71.7%)、2位愛知(19.1%)、3位群馬(1.8%)となっている。</p>				
カラコエ	実績	28年	60,907	188	
		29年	48,405	195	
		30年	36,295	205	
		元年	47,055	199	
		2年	32,171	230	
		5カ年平均	44,967	201	
	3年見通し	32,000	228		
概要	<p>入荷量は前年並か。盆明けより埼玉の山上げ物の入荷がはじまり、敬老の日に向けピークを迎える。昨年は猛暑の影響で開花遅れや腐りが多かったが、今年は概ね順調。山上げ物の3.5号ポット、4～6号の八重咲品種の引き合いが強く、価格面でも安定。前年9月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(63.1%)、2位岐阜(20.0%)、3位茨城(12.3%)となっている。</p>				



## いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.579  
2021年9月発行  
農業水産局農政部食育消費流通課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6434